

蒼生

広報誌「蒼生」バックナンバーはホームページ <http://kusumoto.or.jp/> に掲載されております
冊子をご希望の場合、職員にお声がけいただければ過去の広報誌を差し上げる事もできます

2018年
7月号

前理事長 楠本 剛 お別れの会



平成30年2月16日、医療法人蒼生会楠本病院 理事長 楠本剛は91年の生涯を閉じました。葬儀は家族葬にて行われ、6月24日「お別れの会」を病院主催で開催させて頂きました。

会場は福山ニューキャッスルホテル3階光耀の間。会場正面に和やかに微笑む楠本前理事長の写真を清らかな無数の花で囲んだ祭壇が飾られ、厳かな雰囲気の中にお別れの会は始まりました。参加者全



員で黙祷し、司会者から福山の地域医療に命を奉げた楠本前理事長の生涯が紹介されたあとは、お客様からお別れの言葉を頂戴しました。

参議院議員・自由民主党 税制調査会長 宮沢 洋一 先生
伯父様であられる宮沢喜一元総理の時からアルファークラブ会長として長いお付き合いのある宮沢先生からは「楠本先生、長い間本当にお世話になりました。」と感謝のお言葉を頂きました。

岡山大学医歯薬学総合研究科

消化器外科学分野教授 藤原 俊義 先生

藤原先生は岡山大学第一外科開講記念会の全会員を代表して、楠本前理事長の医療活動によって福山の地域医療の礎が築かれたと称えられ、失った存在の大きさを述べられました。

福山市医師会会長 児玉 雅浩 先生代理

福山市医師会第一副会長 大石 豪彦 先生

大石先生は福山市医師会会員を代表して、楠本前理事長の多岐にわたる地域医療保健活動への貢献を称え、感謝を述べられました。

島根大学名誉教授 西上 一義 先生

旧制誠之館中学のご学友であられる西上先生は、楠本前理事長の若き日のエピソードを紹介して下さい、医師として活躍する前からの素晴らしき人柄に触れることができて会場は深い感動に包まれました。

各界を代表する先生方から熱い思いのこもったお別れのお言葉を頂き、楠本前理事長への追悼の思いであふれるなか、新理事長 森末 千春 さんがご参会頂いた皆様への感謝と遺族としての思い、後継者としての決意を述べて献花に移りました。ご参会頂いたお一人お一人が一輪の花に楠本前理事長への思いと感謝を込めて祭壇に捧げられました。

隣の

会場には天皇陛下から賜った「旭日双光章」をはじめとする表彰状、愛用のゴルフセットや優勝カップなど楠本前理事長の思い出の品を展示し、医局時代から御門町に開業した頃、曙町に現在の病院を立ち上げた頃から晩年に至るまで楠本前理事長の足跡を示す写真を26点展示させて頂きました。皆様には軽食を召し上がって頂きながら展示をご覧頂いて、懐かしいお話に時を忘れて頂きました。十分な準備は出来ませんでした。この場をお借りしてご参会頂いた皆様へ事務局から心よりの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



お別れの会 事務局 諏訪

「聖者」との邂逅

飯島 崇史



6月24日の会は、身内の者が言うのかもしれないと思うが、盛大かつ厳粛なお別れ会であったと思う。日本医師会の代議員会が東京で開催されていたため、県市の医師会執行部が参加できないこともあって、様々な職域の方々の参列が印象的であった。思い出の写真コーナーでは若かりし頃の姿を垣間見ることができ、つい最近まで毎月開催していた小学校の同窓会メンバーも数名出席しておられる姿を拝見して、頼もしく思えた。(当然みな90〜91歳)

数ある参会者の中で、うれしい情報を届けてくれた方がいたので、ぜひ紹介をいたしたい。

岡島邦雄先生 元大阪医科大学消化器外科教授である。岡山大学医学部第一外科で楠本の一級下で同じ講師室の同僚。楠本が兄貴分であったらしい。

当時の教授陣内伝之助先生

は、巢立つてゆく弟子の一人一人に、桐の箱にそれぞれにふさわしい二文字の銘を書いた記念のメスを贈ることで知られていた。岡山大学在任時 三百四十、大阪大学在任時 二百三十、計五百七十もの銘をつけて与えたのだ。同じ銘はひとつとしてない。そのため何種類もの漢和辞典、故事熟語辞典を古本屋で求めて、常に文字を調べる努力を惜しまなかったという。

楠本も当然もらっているはずであり、そのことは若いころ私が本人から聞いて知っていたのだが、肝心の銘の文字は教えてもらったことがないし、見せてもらったこともない。当然家族のだれも知らないという。インターネット上では元広島市民病院院長 甲斐太郎先生は「龍王」、元岡山済生会病院院長 間野清志先生は「至誠」、岡島邦雄先生は「治国」などと一部知られている。

いる。思い出の品としてせめて銘だけでもと探してみたが、どうしても見つからない。悶々としていたところ、岡島先生に会いさつの途中で聞いてみた。即座に答えて曰く「君、楠さんの銘は「聖者」だよ。聖人の「聖者」いい銘だと思わなかね」岡島先生は楠本剛の銘「聖者」を覚えていくくださったのだ。この4か月の間、もやもやしていた気分が一気に雲散霧消した思いがする。

当日発表する機会がなかったので、本日ここで紙面を借りてお知らせする。翌日、銘の一覧が載っている陣内先生の随筆集「道」の抜粋コピーも送っていただいた。あらためて感謝申し上げますとともに、陣内教授の想いが伝わる一助になればと思います、ここにござ披露申し上げまする次第である。



この度当院にて第18回 備後サイコオンコロジ研究会を開催しました。(参加者43名)

皆さん、サイコオンコロジと聞いてどんな分野か分かりますか？サイコ＝怨霊？サイコパスの仲間？オンコロジ＝新しいエコの話？など、分かりにくいですよ。サイコオンコロジとは悪性腫瘍について心理学・精神医学・社会的側面から研究する学問のことで、精神腫瘍学と訳されます。1986年に国際サイコオンコロジ学会が発足したばかりのまだ新しい学問です。この地域におけるサイコオンコロジ研究会は、当地域のがん患者さんの心のケアを充実させ、サイコオンコロ

ジの普及を進めたいと考えた精神科医(現在総合病院に勤務)と、精神腫瘍医としての経歴を持つ精神科医により、2009年9月に「福山・尾三地区サイコオンコロジ研究会」として発足しました。途中「備後サイコオンコロジ研究会」(以後研究会と言います)と名称を変更し現在に至ります。

私は、緩和ケア認定看護師の資格を取得した後、に研究会を立ち上げた福山市民病院の精神腫瘍科医平先生に声をかけて頂いて参加させて頂いており、第1回と第8回、そして今回の三回発表をさせて頂きました。3年前からは微力ながら研究会の世話人となりお手伝い

第18回備後サイコオンコロジ研究会

IN 楠本病院

をさせて頂いております。

研究会は年に2開催されます。

日々の医療・看護の中で対応が困難だった事例を紹介して様々な立場からディスカッションを行うほか、全国で活躍中の精神腫瘍医、臨床心理士等による教育講演が行われます。

今回は、私が緩和ケア認定看護師として患者さんに関わる中で苦慮した症例を提示してディスカッションを行いました。なかなか正解のない問題ですが、症例を振り返ることで次に繋げることが出来る知識や技術を得ることが出来ました。その後、前原病院の緩和ケア認定看護師塩飽さんのからの症例提示があり、最後に福山市民病院のがん専門看護師三村さんから講演がありました。忙しい毎日の中でも理論と実践を結びつけて考える事の大事さを改めて学ぶことができた研究会でした。

参加者の感想には「症例から考えさせられることが多くあり、とても参考になった。」「事例を通して考えることができて良かった。理論立てて考えていくことが必要だと感じた。」など、学びを得られた方が多

かった事が伺えました。

現在2人に1人ががん罹患する時代と言われています。シシリー・

ソンダーズは「あなたはあなたのままで大切です。あなたの人生の最後の瞬間まで大切なひとです。ですから、私たちはあなたが安らかに死を迎えられるだけではなく、最後まで生きられるように最善をつくします」と患者のケアに焦点をあてた言葉を残しています。まだまだ力及ばず、満足して頂けるケアが出来ていないのが現状ですが、シシリー・ソンダーズの言葉のように、緩和ケア認定看護師として患者が最期まで生きられるように支え、「楠本病院にきてよかった」と思ってもらえるようよりいっそう尽力していきたいと考えています。

緩和ケア認定看護師 住吉倫世

シシリー・ソンダーズ

1967年聖クリストファー病院にホスピス病棟を開設、患者の肉体的な苦痛を改め、精神的・心理的な苦痛を緩和し、安らかに余生を送ってもらえるような緩和ケアを実践した医師の一人。

病院を受診される皆様へお願い

スムーズに検査を受けていただくために： 臨床検査室 室長 高蓋

病院を受診されますと、予約検査以外でも診察前や後に様々な検査を行う場合があります。検査をスムーズに受けていただくために以下の点にご配慮をお願いします。

1. 服を脱いでいただく場合もありますが、必ずとは言い切れませんが、手首と足首そして胸やお腹、首などを出しやすいような服装で来ていただくことスムーズに検査が行えます。

2. ワンピースなど上下が繋がった服装の場合、胸もとやお腹の検査を実施する際は、胸元までたくし上げるか、脱いでいただかなければなりません。上下が繋がった服の着用は避けていただくと助かります。

3. スキニージーンズやスキニーパンツなど、細身で膝下まで手繰れないようなもの。また、特に女性の方はブラスリップ・ボディスーツ・ガードル・タイツやストッキングの着用はなるべく避けていただく

と助かります(足を検査する際は、タイツやストッキング・細身のズボンに脱いでいただく場合もあります。)

4. 腕時計程度なら構いませんが、多くのアクセサリ(ネックレス等)を身に付けておられる場合は、検査中は取り外していただくことがあります。

5. 検査によっては、ゼリーを使用する場合があります。ゼリーが服に付かないように防水性の紙を間に挟みますが、絶対に付かないとは言いきれないため、シミになりやすい衣服(皮製品・絹など)の着用はご遠慮ください。

服装は、脱ぎやすく着やすい、ゆったりとしたゆとりのある楽な服装で、下半身は締め付けのないものが理想となります。上着や厚手の服は脱いでいただく場合もあります。病院を受診する際には、服装に関するご協力をお願いします。



初めての米国旅行

院長 森末正博

小生は今年5月の連休を利用して生まれて初めて米国の地を踏んだ。1955年生まれの小生にとって米国は世界の政治経済の中心で、地球の警察を自他ともに認める存在であった。しかし、現トランプ政権が誕生してからは、米

国ファーストの掛け声とともに経済、国境・移民問題については保護主義に染まっている。そんな中、5月4日午前7時35分広島空港より羽田空港へ飛んだ。さらに羽田ではあわただしくしかも簡単に出国審査を終え午前10時50分トランジットのシカゴに向けて飛び立った。シカゴまでは13時間のフライトとなることはあらかじめわかっていたが、何分こんな長い飛行機の旅は34年前の新婚旅行以来であつたので時間の使い方が思

うようにいかなかった。酒を飲みながら音楽・映画鑑賞、普段することがないような時間であつたが知らない間に眠りこけていた。シカゴ国際空港は巨大なハブ空港で、入国審査も自動読み取り装置で簡単に済ませ、面接も短時間で済んだ。実は今回、二男がウエストバージニアにあるマーシャル大学大学院物理学科を学部も合わせて8年もかけてめでたく卒業するというので父親としては息子の卒業する大学を見学し、卒業式に参加して一緒に祝うつもりの旅であつた。しかし、実際は米国では卒業式参加には申し込みと参加費があるらしく、息子は勉学?・学生指導が忙しく申し込みの締め切りを見事に忘れていて残念だが卒業式参加はかなわなかった。マーシャル大学があるハンチントンへはシカゴから約3時間のフライトで空港へは息子と友人が車で出迎えてくれた。ハンチントンの宿まで空港から1時間30分のドライブだった

が気持ちのいい緑の茂る森の中の高速道路を疾走した。しかし、夕刻宿舎に到着し、フロントでチェックインをしたところダブルブッキングが判明、フロント係も他のホテルを何か所かあたってくれたがこの時期大学の卒業式に参加する家族が多数宿泊しているらしく空はなく、最終的には息子の汚い寮で1晩過ごすことにした。夕食を息子がたまに行くという近くのレストラ

ンへ案内してくれた。レッドロブスターというチェーン店だったがオイスター、エビのチリソースに似た辛い中華風もあり小生にも味は十分満足できた。その日の夜、週末なので息子の大学のラグビー仲間が寮でパーティーをしているから来ないかと誘いがあり息子と一緒にでかけた。友人にはデンマークやインドネシアの留学生や卒業した社会人もいてラグビーつながりの多様な人種があつまりであった。テキーラで何度となく乾杯をして2019年には日本でラグビーの世界選手権があり来日するのでまた会おうというものもあり、2020年東京オリンピックにも是非行くので広島を案内してほしいと言ったり若者の力強いエネルギーを強く感じた時間であった。



翌5月5日午後0時過ぎハンチントン空港を飛び立ち、トランジットのトドーズ・イーガー空港で乗り換えてニューヨーク・シャローロット空港には午後4時過ぎについた。タイムズ・スクエアの宿までは車で約40分かかったが高速の車の数はやはり東京・

のスタンディングオベーションでミュージカルは幕を閉じた。ホテルへの帰り道週末でもあってタイムズ・スクエアの煌々と光るネオンとともに夜遅くまで闊歩する多数の老若男女・多数の人種に圧倒された。また米国内の人々の体型にも人種・経済的格差が如実に表れていると感じた。多様性を飲み込んでしまい、さらに独自の文化を創造してしまいう多民族国家のゆえんである。

5月6日午前中にミッドタウンを散策し、彼のトランプタワーの見学をした。入り口には2名の武装警官が防弾チョッキの上にライフル銃を構えて立っていた。中に入るとさらに数名の警官がおり持ち物検査ののち入館が許された。タワーの中には多



数の観光客がおり、イバンカのブティックやレストラン、スターバックスなどに入っていた。やはり企業家トランプのものであった。そのあとニューヨーク近代美術館でゴッホ・モネ・ピカソ・ウォーホルなどを鑑賞した。ここは写真撮影が可能であったのが驚きである。館内も広く小さな子供に集団で美術授業をしていたのが印象的だった。

午後1時より野球観戦のためアップタウンにあるヤンキースタジアムへ地下鉄を利用して向かった。地下鉄の中には熱狂的なヤンキースファングが多数乗っていてかなりうるさかった。ヤンキースタジアムは広島球場と同様に天然芝の球場で非常にきれいだった。インディアンズとの1戦だった



たが相手ピッチャーの出来が非常によく、ヤンキースは1-3で後半まで劣性だった。しかし、最終回劇的なサヨナラホームランが飛び出しスタジアムのボルテージは最高潮に達した。初めての海外での野球観戦で憶記に残る1戦となった。

夕食は息子の卒業祝いでアップタウンにあるセントラルパークのそばのトランプホテルにあるJean Georgesで食べた。ウエイトレスが卒業祝いの会食だとわかると息子にケーキをサービスしてくれるところづかいをしてくれた。このレストランは内装も店内の雰囲気もウエイトレスの接客ももちろん食事の内容も大変満足するものであったが、ただ残念だったのはテーブルに飾られたスマイレに似た

花が少し萎れていたことだ。5月7日午前中に自由の女神を見るつもりであったが、船乗り場に着くのが遅くなり、すでに

に観光客で長蛇の列となっていた。海を隔てて遠くに自由の女神を写真に収めてからウォール街、トリニティ教会など散策することにした。この地域は経済の中心でもあったかなり古い建物が並んでおり、中には改修中のビルも散在していた。中国人のツアー観光客が多数バスで移動していて中国パワーは日本だけでなく米国でも一緒かと思っ

しく警察や警備の車両が多数博物館周辺に展開していた。小生としては必ず見学しようと思っていたところであったが下調べをしていなかったばかりに残念な結果となった。そこですぐ近くにあるアメリカ自然史博物館に行ってみた。この博物館の特徴は地球の歴史だけでなく世界の各地域の民族の歴史をすべて網羅した展示を公開していることだ。その発想は米国らしいといえ

る。米国の歴史やその文化やその発展の歴史をつぶさに鑑賞できる展示である。子供や学生の入館者も多く、その入館料金もかなり割引されていた。今回米国と言ってもウエストバージニアの田舎と経済文化の中心であるニューヨークしか立ち寄っていないけれど、米国は多民族国家でその多様性を十分受け入れてきた歴史があるものだと感じる。

た次第である。ただコミュニケーション・ツールが十分でなければお互いの言い分も理解されず、さらにお互いの置かれた立場が特に経済面の格差が明らかであれば生活の質も人生の目標にも歴然とした格差が生じるものだと思う。逆に才能と十分なハードワークと強い精神力を持ち続ければアメリカンドリームもあるのかなと思う。

今回、小生は当院のスタッフ（家内も含め）・同門の後輩の先生たちのおかげで6日間の非日常の時間を過ごすことができたことに大変感謝している。帰国後も大した時差ボケもなく翌日の当直もこなすことができた。今後も健康維持に注意すれば仕事も次回の非日常の経験も十分可能かなと密かに思っている。これから予防医学、病気にならない生活習慣を獲得することだ。（歳を取ってからの予防は難しいことだが！）



不意に海や川に落ちた場合
にどうするべきか。ほとんどの児童（大人もですが）は、いざというときの正しい対処法を知りませんでした。

昔は、不意に川や海に落ちた場合、服や靴を脱ぐといった事を聞いたことがありましたが、現在、この方法は誤った対処の仕方だそうです。服を着ていると、身体と服の間に空気が入ることで浮力を多少でも得る事ができたり、岩等といった外部との接触による怪我の防止効果や保温効果も期待できるそうです。また、普段皆様が履いているようなスニーカーなど、靴の裏がクッション性の高い素材の場合、浮力を有するそうです。声を出したり、手を振って助けを呼ぶという行為も誤った対処法で、助けを呼ぶため声を出すと肺の空気が抜け、

手を振れば腕と濡れた袖の重さが加わり、かえって沈みやすくなるので危険です。

岸に向かって泳ごうとしても、海や川には流れがありまですので相当な泳力がない限り、辿り着けずに体力が消耗し、焦りはじめ、さらには流れに逆らって水の抵抗をより感じることから恐怖感に襲われることになり、泳ぎ続けられず、助けを待つことが大切のことでした。では、落水したときどうすればいいのか。まずは、慌てず落ち着くことが大切のことでです。しかしパニックになりそんな余裕はない筈です。慌てず落ち着いて対処するためには正しい知識とトレーニングが必要となります。着衣水泳は、いざというとき、呼吸を確保し救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法です。着衣水

泳では、落水時、大の字で仰向けの姿勢になり体の力を抜く「背浮き」をするよう習いました。簡単なトレーニングで約1/3位の人が背浮きを体得することができました。背浮きができない人でも、身の回りにある浮力のあるものに捕まって浮く「ラッコ浮き」は比較的簡単にできました。

もちろん、自然と各人によって条件が異なりますから、全てにこの方法がベストであるとは限りませんが、着衣時の動きにくさ、濡れた服の重さを感じて、いざというときの心構えができました。また、救助する場合、1人で助けに行くと、溺れている方は必死にしがみついて少しでも浮こうとしますから、押さえ込まれる状態となり一緒に溺れてしまいます。訓練を受けた方は、潜って近づき後ろから溺れた方の脇を抱えるように浮上して、横泳ぎで救助するそうですが、非常に危

険を伴うので、簡単な対処法を学びました。ゴミ袋や2リットルの空のペットボトルなどを浮き代わりに投げ込む方法です。そのまま投げても風に煽られ届きませんが、中にある程（1/5位）の水を加える事で風に煽られなくなり、結構飛ばす事ができました。この浮きを抱えてもらうことで多少でも時間が稼げると思います。

ロープを投げ入れる場合は、片側をしっかり足で踏みつけながら、対象者の手前ではなく奥側に投げ入れるよう指導を受けました。川や湖、ダムで事故を発見した場合にまずは消防署（119番）へ、もし海で釣りをしていて落水してしまった人など発見した場合は、海上保安庁（118番）へ連絡をしましょう。水辺で子供達だけで遊ぶことは危険であり、大人も一緒に出かけることが大切であることを実感しました。

郷土に誇りを
名誉院長飯島崇史

振り返ってみると、親に育ててもらった時間より、居を構え親として子や孫を見てきた時間のほうが長くなっていった。学童期には教えてもらった。その地の歴史や誇るべき事象を、自ら意識して求める努力をしなければ、人は言うに及ばず、子や孫にも語り教えることができないのではないだろうか。そこで手持ちの資料などを調べてみた。「まんが物語 福山の歴史 放浪の大名・水野勝成 上下 啓文社」が優れている。次世代を担う子供にもわかるように、漫画の形をとっているが内容に不足はない。さらに本のあとがきを読んで、この事業に福山市医師会重鎮の松岡巖先生が深くかかわっていた事を初めて知った。それによると、現在の福山の町並みの原型を作ったのは、徳川家康

のいとこにあたる水野勝成という武将で、反徳川の西国大名にいらみをきかすため、譜代の水野を備後の地に配備したと言われている。すなわち芸備両国の領主福島正則を改易させると、紀州から浅野長晟を広島城に配し、水野勝成を大和郡山から備後10万石の城主として黄葉山にある神辺城に布陣した。この城は山陽道の分岐点にあるが海路には遠いため、勝成は福山城を現在の定興寺山に築くことにした。当時京都では伏見城を取り壊し、その材料を大阪城再建に使っていた。そこで福山城を築くにあたり、幕府から伏見城の櫓を譲り受けて移転した。現在の国重文、伏見櫓である。また伏見城の珍しい組み立て式の能舞台も拝領したので、新たな福山城は30万石に

匹敵する規模となる。そのほか治水事業や新田開発を積極的に行い、イ草による畳表の産業育成にも力を注いだ。当初芦田川は屈曲して吉津川となり、城の北側防御に充てていたのだが氾濫を繰り返すため、これをまっすぐ草戸方面に流れるように堤防をつくり、吉津川を支流とすることで水害に対応した。また早くから上水道の重要性を認識して工事をはじめた。まず本庄で芦田川の水を引き入れ、貯水池（蓮池）に、それから城下の武家屋敷に流れ出るのだが、この樋門を流れ出る音から愛称「どんどん池」とも呼ばれた。これは江戸・神田上水に次ぐ日本で二番目に古いものだが、かかる誇らしき事実が意外に知られていないのは誠に残念だ。福山城下の発展に果たした役割は誠に大きく、大正14年近代上水道ができるまでの約300年の間住民に命の水を提供してきたのだか

ら。（図説 福山・府中の歴史 郷土出版社）。このほか広島在住の女流歴史小説家 見延典子氏は、歴史書「日本外史」を著し、幕末の若者たちの心を尊王に傾けた文筆家・頼山陽の生涯を小説にまとめ、この中で神辺の漢詩人・儒学者菅茶山との交流にも言及している（「頼山陽」 上下 徳間書店）。ちなみに頼山陽は頼の保命酒をこよなく愛したらしい。さらに黒船来航時の国難に、老中首座として立ち向かった若き福山藩主 阿部正弘の姿を描いた作品もある。（敗れざる幕末「徳間書店」この阿部正弘に関しては、先ごろ乳癌で亡くなった福山在住で小説家の今井絵美子氏も（「群青のとき」角川書店）を上梓している。お二人とも「くちなし会」で講演していただいた方たちだが、今井氏は平成27年10月の講演時すでに進行乳癌を患っており、その上で「自

分は小説を書き続けるのが使命と認識している。だから治療を受ける時間も惜しいのでがんの治療を受けるつもりはない。死の直前までペンを離すつもりはない」と淡々と決意を述べておられた姿が目につく。2年後の平成29年10月8日ご逝去されたと報じられている。謹んでご冥福をお祈りする。頼についても一言、言及しておきたい。前市長の頃は生活道路のあり方について町を二分して意見の対立があったが、その後うわさを聞かないように思う。と思っているとある朝駅前のデパート壁面に目があった。「祝日本遺産認定 頼の浦」の垂れ幕が掛かっているではないか。市の「広報ふくやま」にも特集が掲載されていた。「瀬戸の夕風が包む国内随一の近世港町くせピア色の港町に日常が溶け込む頼の浦」5月24日に認定がなされたそうである。

常夜灯、雁木、波止、などに加えてストーリーを語る上で欠かせない祭りや食も構成文化財であるらしい。ところで「国内随一の近世港町」が頼である根拠は？これも「くちなし会」の演者 守屋壽氏のコレクションが大きな力となったのではないかと推察する。氏は福山出身で一橋大学を経てハーバード大卒MBA取得。メリルリンチ日本証券会長を歴任後相談役に就任。海外勤務の合間に古地図のオークションにたびたび参加。収集家の顔もあり、最終的には収集した大量の貴重な古地図など848点をふるさと福山の県立歴史博物館に2014年と2016年に寄託した。その中で1560年インドのゴアで活躍したポルトガル人地図作家ドゥーラートが描いた西日本、瀬戸内海航路の港名は下関、鞆(Tomoe)、室津、兵庫、堺がみられる。1543年種子島にポルトガ

ル人が漂着してしばらくたつてからの地図。東日本、蝦夷はまだ描かれていないがリンスホフエンの「東方案内記」に出てくる、当時としてはもつとも詳細なものであるという。北前船の寄港地でもあったわけで、殷賑を極めた当時の繁栄振りが偲ばれる。最後に近世については福山市制施行100周年を記念して福山市が刊行した(まんが「福山を知ローゼ」第4集「100年物語」上下)がある。陸軍歩兵第41連隊、バラ公園、日本鋼管誘致、新幹線開通、に始まり福山市の未来にまで言及している。たかがまんがと馬鹿にしてはいけない。三好教育長が書いているように、次代を担う子供たちに郷土福山に愛着と誇りを持ってほしいという想いが読み取れる。他の土地から移り住んだ我々大人も、もう一度子供の頃に戻って郷土の歴史を紐解いてみるのも悪くはない。

今回は後見制度の概要について触れました。今回は後見制度の問題点について見てみます。最初に把握しておきたいのは「後見は本人の財産を守る制度として設計されている」ということです。

認知症のAさんに子B、孫Cがいたというケースで見てみましょう。Aさんは孫Cの学費を払うと昔から言っていました。認知症になって銀行が預金払戻にに応じてくれなくなりました。困った子Bが法定後見の申立を行い、弁護士Dが後見人に。一安心した子Bに弁護士Dが告げます。「Aさんの預金から孫Cの学費を支出することは認められません」と。成年後見は「本人の財産を守る」制度ですから、本人の財産を減らして第三者の利益を図る行為(孫の学費を援助してもらう、生前贈与や生命

～プロムナード～

認知症に対する法的備え②

士道法律事務所 弁護士 飯島充士

保険で相続税対策を行う)、財産の減少を招き得る行為(元本保証がなく損失が生じる可能性のある株式その他の投資)は基本的に認めてもらえないのです。

他には「後見・補佐が開始すると取締役の資格を失う」ということも重要です。取締役は欠員が生じることになるので、会社によつては速やかに代わりの取締役を採り出して選任する必要があります。

「後見人が預り財産を横領する可能性がある」ということにも注意は必要でしょう。後見全体に占める割合としては低いものの、弁護士や司法書士による横領事件も一定数発生しており専門家だから絶対に安心とは言いません。

もつとも任意後見ならこれらの問題の多くを回避できます。任意後見の場合は信頼の

おける後見人を自分の意思で選べますし、事前に本人の意思を確認しておけばかなり柔軟な対応が可能となります。例えば「孫の学費を大学卒業まで払う」という任意後見契約を予め締結しておけば、認知症となつた後も孫の学費援助を継続できるようにするのです。

成年後見の最大の利点は「信用できない人間が本人の周囲にいる場合の抑止力になる」ということ。本人の財産を食い潰そうとする悪徳業者や同居親族がいる場合、後見人をつけていればその被害はほぼ確実に防ぐことができるようになります。

2025年には認知症患者が700万人を超えると言われる時代。来るべきに備えて後見制度を正しく活用することが自分自身や家族を守ることに繋がるのかもしれない。(以上)